

# 新型コロナウイルス

## 小規模設備投資等補助金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内の事業者が行う、売上げの回復や、生産性の向上につながる設備投資に対する経費の一部を補助する制度です。

**対象** 真庭市内に主たる事業所がある中小企業者および小規模事業者(個人事業主含む)

**申請要件**

- ・令和3年4月から令和3年8月のいずれかの売上高が前々年または前年同月比20%以上減少していること
- ・市税を完納していること。
- ・導入する設備等に対して他の補助金の申請をしていないこと。
- ・許認可等が必要な業種の場合には、それらを取得していること。

**補助対象経費** 売上げの回復や、生産性の向上につながる備品や設備の購入費(ただし、備品や設備の設置にかかる費用も含む)  
例: デジタル式看板、Posシステムの導入、冷蔵庫等  
※市内事業者からの購入または市内事業者により設置する必要があります。

**補助上限** 10万円

**補助率** 2/3以内

**受付期間**

令和3年10月1日～令和4年1月31日

※期間内であっても予算がなくなり次第終了します。

## コロナ感染対策事業者 支援事業補助金

新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を補助し、中小企業者・小規模事業者を支援する制度です。

**対象** 真庭市内の中小企業者・小規模事業者(個人事業主含む)

**補助対象経費** 令和3年9月28日以降に新型コロナウイルス感染症対策の経費として支出した消耗品費、使用料、委託料

・消耗品費: アルコール消毒液、アクリル板(パーティション)、フェイスシールド、マスク、手袋、体温計、二酸化炭素測定器、ペーパータオル等

・使用料: 衛生マット、除菌モップ等

・委託料: 消毒作業に係る委託料

**補助上限** 従業員数により異なります。  
5万円(従業員数5名以下)  
10万円(従業員数6名以上)

**補助率** 10/10

**受付期間**

令和3年10月1日～令和4年1月31日(消印有効)

※期間内であっても予算がなくなり次第終了します。

各種制度のご相談は  
お近くの商工会に  
お任せください!

## 落合支所完成

かねてより建設計画を進めておりました『真庭商工会落合支所』が完成し、令和3年12月6日から運用を開始しました。新支所は、多様化する経営課題およびニーズに対し、きめ細かな支援サービスを展開するため、整備を行いました。なお、新支所の場所は落合SCサンプラザ東側となります。

【住所】岡山県真庭市落合垂水429-1 【TEL】0867-52-3360 【FAX】0867-52-2119  
(TEL、FAX番号は変更ありません)



支所外観



支所内事務室

# 専門家の声

## 小規模事業者における

## DXへの取り組み方

DX(デジタル・トランスフォーメーション)という言葉がこの頃よく見聞きするようになり、2004年頃からある言葉ですが、近年コロナ禍のもとで注目が集まり、経営上の一つのトピックとなっ

ています。DXとは簡単に言うと、デジタル技術を活用した変革です。国はDXを推進するためのガイドラインを策定しており、その中でDXを次のように定義しています(経済産業省、2018「DX推進ガイドライン」)。

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立する(同)。

この定義から、DXでは「変革」に重きが置かれ、その対象は日頃の業務から組織にいたるまで広く想定されていることがわかります。DXが目指しているのは、変革を通じて企業のパフォーマンスを高めることです。例えば、コロナ時代に打ち勝っていける業務プロセスに変革するためにリモートワークを導入するといった取組もその一つです。いくらデジタル技術がうまく使いこなしたとしても、「X(変革)」につながらなければDXとは言えません。

変革に向けて、国内企業のDXは現在の程度進んでいるのでしょうか。最近の調査によると(一般社団法人日本能率協会「日本企業の経営課題2020」)、既にDXに取り組んでいる大企業は51%であるのに対し、中小企業では15%にとどまっています。一方で、「検討を進めている」「これから検討する」とした中小企業は62%に上り、現在は規模の大きい企業が先行しているものの、今後は中小企業においてもDXが進むと予想されます。

DXは小規模事業者にとって決して難しいものではありません。小規模事業者は大企業に比べてビジネスや組織の構造がシンプルです。それらの変革を目指すDXは、経営者のリーダーシップを発揮しやすい小規模事業者こそ取り組みやすいと考えることができます。

では、どのようにDXを進めて行くのが良いでしょうか。変革を意識するあまり、腰が引けてしまうのは考えものです。そこで、まずは身近なところの小さな変革から始めてみれば良いと思います。それは紙の日報のクラウド化かもしれません。商談や受注のオンライン化かもしれません。DXは情報のデジタル化やデータの活用といった、いわゆる「IT活用」の延長線上にあると考えることができます。日頃の業務で感じている非効率をITで改善するところから着手してみましょう。

IT活用の段階から、さらにDXへとつなげて行くためには2つのポイントがあります。

- ① ツール視点(部分最適)から経営視点(全体最適)へ
- ② 短期視点から中期視点へ

① IT活用の段階では、ITツールの導入そのものが目的になりがちです。業務が局所的に最適になるだけでなく、他のシステムとの連携が取れているか、情報が重複・散在してないか等、経営全体から見て最適であるかを意識すると良いでしょう。

② DXに取り組んでもすぐに成果が出るとは限りません。また、デジタル技術の組織的な活用のためには、IT人材を社内内で育成することも検討課題になります。中期的(3~5年)なタイムスパンで取組を継続、評価する必要があります。

経営視点、中期視点のいずれにおいても経営者の関与が不可欠です。こうした観点からも、経営意思決定のスピードが早い小規模事業者こそ強力なDX推進力を持つていえると言えます。

これからも事業を継続し、さらに成長発展するためには、激変する経営環境に適応して行かなければなりません。ピンチを乗り越えチャンスに変えるためにも、積極的にDXにチャレンジしていただきたいと思えます。



### 岡本 泰洋

株式会社リアッド  
代表取締役/中小企業診断士

岡山県商工会連合会嘱託専門指導員、中小機構中小企業支援アドバイザー  
中小企業・小規模事業者の情報化、Web・IT活用支援に長年従事。長期経営計画、経営革新計画、補助事業計画の策定を多数支援。経営学修士(岡山大学)。倉敷市出身。

# 青年部

(部員数 105名)

## キッズマニワーク2021 小学生49名が15の職業を体験!



令和3年11月23日(火)勤労感謝の日に、久世産業学習館において、職業体験事業「キッズマニワーク2021」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となりましたが、今年度は感染症対策を徹底して行うことで、無事開催することができました。

この事業は、真庭市および新庄村の小学4年生～6年生を対象とし、仕事の大切さ、大変さを自分で体験し学ぶことを目的としています。

コロナ禍での実施には多くのハードルがありました。しかし、青年部まちづくり委員会を中心に、安全かつ記憶に残る事業になるように、様々な助言をもとに会議準備を重ね、その結果、成功裏に終えることができました。

当日は厳しい冷え込みでしたが、参加した児童達は実際に仕事を体験し、笑顔と達成感にあふれていました。

(部員数 212名)

# 女性部

## 「アンガーマネジメント研修会 ～感情をコントロールして安定した経営を目指す～」開催



▲講師の稲田尚久氏



▲講習会の様子

### 部員募集中!

真庭商工会女性部では、随時部員を募集しております。先進地視察研修、地域イベントへの参加、部員資質向上講習会の開催等を行っております。加入ご希望の方は、真庭商工会本部、又は各支所までお問い合わせください。

令和3年11月26日(金)、勝山文化センターにおいて今年度の若手後継者等育成事業「アンガーマネジメント研修会」感情をコントロールして安定した経営を目指す」を開催しました。講師にアンガーマネジメントファシリテーターの稲田尚久氏をお迎えし、怒りのメカニズムや思考のコントロール方法、怒りの取捨選択などについて教えていただきました。

感情をコントロールするには怒りのメカニズムを理解することが大切です。今回の研修会では怒りの原因およびメカニズムについて学習し、そのうえで、感情や考え方のコントロール方法についてディスカッションを交えながら学びました。

研修会終了後、参加者からは「今までの自分の行動を見直すきっかけとなった」、「社員に対して相手の気持ちを常に考え接していきたい」などといった前向きな感想をいただき、業務指示方法や自身の行動を見直す良い機会となりました。